

平成29年度

成田空港活用協議会総会
議案書

平成29年5月26日(金)

目 次

議案第1号	平成28年度事業報告について・・・・・・・・	1
議案第2号	平成28年度収支決算について・・・・・・・・	26
議案第3号	平成29年度事業計画（案）について・・	28
議案第4号	平成29年度収支予算（案）について・・	33
議案第5号	役員を選任について・・・・・・・・・・・・	39

平成28年度 事業報告

1 総括 ～振り返り～

○ “ナリタ”の魅力を発信し、より一層「存在感」を高める

圏央道茨城県区間の開通などをはじめ、交通アクセスの利便性が向上する中で、これらの効果が空港利用者の取り込みにつながるよう、千葉県内はもとより、圏央道沿線や国内線就航先などで積極的にプロモーションを実施し、“ナリタ”の存在感を高めた。また、平成26年度から継続して女子旅×成田LCC事業を実施し、若者目線での“ナリタ”の魅力を発信した。

さらに、訪日外国人旅行者が年間2,000万人を超えるなど、ますます増加する訪日旅行需要を取り込むため、ランドオペレーターとの商談会や外国語のポータルサイトを利用した情報発信等を実施した。

○ これまで培った連携・交流の更なる発展

平成25年度から実施してきた北海道との交流を踏まえ、北海道・千葉交流パークゴルフ大会などを相互に実施した。また、成田－函館線新規就航に伴い、函館空港でのプロモーションを実施し、これまでの札幌地域に加え、函館地域との交流促進を図った。

また、スポーツツーリズムをテーマに、野球ではマリンスタージアムと札幌ドームで、サッカーではフクダ電子アリーナと熊本のうまかな・よかなスタジアムで、国内線就航先と誘客・送客が一体となった双方向でのプロモーションを実施するとともに、熊本地震の復興支援のため、募金と応援メッセージを熊本に届けた。

○ 会員のビジネス展開に向けた会員相互連携の強化と、事業に役立つ情報・場の提供の充実

成田空港から県内への二次交通や成田空港と圏央道を活用した地域開発プロジェクト構想にかかる研究会など、会員の新たな事業展開等に向けた協働の場づくりを行った。

また、物流動向やインバウンドへの取り組みなど、会員の関心の高いテーマについてのセミナーをタイムリーに開催するとともに、協議会会員向けメールニュースなどにより情報提供を行った。

主な成果や今後の課題

① 女子旅×成田LCCを活用した国内線就航先PR

- 千葉県の魅力等について、若年層の女性がよく利用するWEB媒体やSNSを活用した情報発信を行なうことで、ターゲット層へPRすることができた。
また、成田LCCを使ったモニターツアーに広島、福岡、沖縄の女子学生8名を招待し、SNSを使って千葉や成田LCCの魅力を発信するとともに、意見交換会を実施し、直接PRするだけでなく、SNSやブログによる情報発信の高い有効性を確認するとともに、友人など身近な人へのPRができた。
- 若年層の旅行需要の増加につなげるためには、学生目線での千葉や成田LCCの魅力を継続して発信することが重要である。

② 北関東でのナリタPR

- 圏央道境古河ーつくば中央間の開通により、成田空港へのアクセス利便性が向上する『北関東エリア』において、国内線についても成田空港が便利であることを知ってもらうことを目的にハイウェイウォーカーへの広告掲載や、千葉県と連携した東北自動車道のパーキングエリアを活用した旅行需要喚起策を実施し、成田空港の“認知度向上”を図ることができた。
- 更なる認知度向上を図るため、圏央道の整備推進と併せた北関東エリアでのPRに取り組む必要がある。

③ 県内・首都圏エリアにおけるナリタPR

- 県内向けでは、千葉都市モノレールラッピング広告、成人式プレゼント企画などで成田空港の持つ豊富なネットワークや交通利便性をPRすることができた。
また、首都圏向けでは、東京駅近くにおいて、県の実施する期間限定アンテナショップ「ちばI・CHI・BA」に出展し、首都圏から成田空港への充実した交通アクセスや豊富な航空ネットワークについてPRできた。
- 県内・首都圏からの利用を増やすために、より多くの方に成田空港へのアクセス利便性が向上していることを知ってもらう必要がある。

④ 海外向け誘客促進

- 来日者が拡大しているタイ王国のメディア関係者を招請し、県内観光ツアーを実施して、千葉の魅力について各メディアが有する新聞や雑誌、WEB等の媒体を活用した情報発信をすることができた。
昨年度に続き、東アジアや東南アジアの両地域を手掛けるランドオペレータ

一との「商談会・交流会」を実施したところ、参加会員が団体旅行を受注するなど具体的な成果につながった。

また、外国人向けウェブマガジンを媒体に、外国人目線からの成田空港を中心とした県内観光地の魅力について、多言語による情報発信を行うことができた。

- インバウンドを県内に取り込むため、今後も会員と連携したPRを行うことが重要である。

⑤ ナリタファンの拡大に向けた取組

○ 成田空港をより身近な存在として感じてもらえるように社会科見学の増加を図るため、成田空港及びその周辺施設を案内する教職員向けのモニターツアーや、親子見学バスツアーを実施した。ツアーを契機に2校が成田空港への社会科見学を実施したほか、次年度以降の候補先として検討している。

- 「OUR AIRPORT」として若年層に身近に感じてもらえるような、ナリタファンの拡大に向けた取組が重要である。

⑥ 北海道との交流促進

○ 北海道と千葉県の双方で、パークゴルフ大会及びパークゴルフモニターツアーなどを行った。こうした取組を実施することにより、シニア層に対し成田LCCの認知度を高めることができた。また、道県のパークゴルフ場が継続的な交流に取り組むための意見交換を行い、合意につなげることができた。

- 新規に成田－函館線が就航するなど、北海道と千葉県の間には多くの航空便が就航していることから、パークゴルフなどテーマ性を有した交流を促進する取組が有効である。

⑦ 国内線就航先と連携したPR、交流促進

○ 千葉県が実施した成田空港を基点とした期間限定高速バスの利用者に対し、キャンペーンを実施することで、成田空港の豊富なネットワーク等のPRを行うことができた。

また、県内及び就航先のプロスポーツチームと連携し、アウェー戦観戦には安くて、便利な成田LCCを利用してもらえるよう、誘客、送客一体となった相互PRを行うことで、潜在需要を掘り起こすことができた。

- スポーツ観戦という明確な目的をもって、成田空港の国内線ネットワークやLCCについてのPRができたことは、訴求効果が大きく今後も継続して取り組んでいくことが重要である。

⑧ 会員の新たな事業展開等に向けた協働の場づくり

- 「成田空港と外房地区を結ぶバス路線」について研究会を設置し、地元の受入体制の現状や方向性などの問題意識を共有し、二次交通等の事業化の可能性を検討し、地元自治体等と受入体制の充実や継続的な取り組みの重要性を共有することができた。

また、「開発プロジェクトはどのように構想され実現されるのか」をテーマに、専門講師の指導のもとに、事例研究やプロジェクト構想の策定までの一連作業を学習する場を提供することができた。

⑨ 経済活性化セミナー

- 第1回セミナーでは、「成田空港圏における物流動向調査」の調査結果について説明し、成田空港の更なる機能強化の推進、圏央道及び幹線道路の整備推進、既存産業の活性化及びオール千葉県での企業誘致活動の推進の重要性を訴えた。

第2回セミナー（パネルディスカッション）では、先進地での取り組みや、インバウンドの意義や経済効果等について意見交換を行った。

いずれも会員の関心が高いテーマであり、タイムリーに実施したことから、会員のビジネス展開に資するセミナーとすることができた。

⑩ マーケットリサーチ

- 各主体（企業・団体・自治体）のインバウンドに対する期待及び対応状況を明らかにするなかで、今後取り組むべきことを「見える化」することを目的に「千葉県のインバウンドの対応力向上に向けた調査」を実施した。分析結果は平成29年度県内経済活性化ビジネスセミナーにて報告する。

➤ 上記⑧⑨⑩については、会員にニーズを踏まえ、会員のビジネス展開に役立つようなテーマを設定した取り組みが重要である。

⑪ 要望活動

- 昨年に引き続き、関係2団体とともに、国等に対して圏央道と北千葉道路の整備推進に関する要望活動を行った。

➤ この2つの道路は、成田空港の利便性の向上や成田空港の経済効果を首都圏全体に波及させるための基幹インフラであることから、引き続きこうした取り組みを行うことが重要である。

2 事業の概要

(1) 誘客促進事業

ア 国内線就航先との交流促進

① 北海道との交流促進

平成25年度、26年度と実施してきた北海道との意見交換などの交流を踏まえ、平成27年度に北海道・千葉交流パークゴルフ大会 I N千葉や北海道からのパークゴルフモニターツアーなどを実施した。

平成28年度は、相互交流の更なる展開として、北海道と千葉県の双方で、交流パークゴルフ大会とパークゴルフモニターツアーなどを行った。

(千葉県での大会については、荒天のため、当日中止となった。)

○北海道・千葉交流パークゴルフ大会 I N北海道及び千葉県からのモニターツアー

平成27年度に実施した「北海道・千葉交流パークゴルフ大会 I N千葉」及び北海道からのモニターツアーに続き、平成28年度は、「北海道・千葉交流パークゴルフ大会 I N北海道」及び千葉県からのモニターツアーを実施した。

《パークゴルフ大会、表彰式・交流会》

- ・日 時：平成28年9月8日（木）
- ・場 所：えべつ角山パークランド
- ・内 容：開会式、競技、表彰式・交流会
- ・参加者：180名（千葉県からのモニターツアー参加者76名、北海道のパークゴルフ愛好者104名）

《モニターツアー》

北海道・千葉交流パークゴルフ大会 I N北海道の開催にあわせて、LCCや北海道でのパークゴルフを体験していただくモニターツアーを実施した。

- ・日 程：平成28年9月7日（水）～9日（金）
- ・参加者：76名（バニラ便：35名 ジェットスター便：41名）

・ ツアー行程 :

日次	月日	行程	食事
1 日目	9月7日 (水曜日) ※申込み先の 利用航空便毎 に出発時間が 異なります。	【往路バニラエア便 (日本旅行)】 6:00 集合 成田空港→→新千歳空港→えべつ角山パークランド→ホテル 宿泊先: アートホテルズ札幌	朝: × 昼: 弁当 夜: ホテル
		【往路ジェットスター便 (JTB)】 8:30 集合 成田空港→→新千歳空港→えべつ角山パークランド→ホテル 宿泊先: アートホテルズ札幌	朝: × 昼: 弁当 夜: ホテル
2 日目	9月8日 (木曜日)	午前: えべつ角山パークランド (北海道・千葉交流パークゴルフ大会 in 北海道) 午後: 表彰式・交流会 (交流会では景品が当たる抽選会も開催) →大倉山展望台→市内観光 (車窓) →ホテル 宿泊先: アートホテルズ札幌	朝: ホテル 昼: パーク ランド (交流会) 夜: ×
3 日目	9月9日 (金曜日)	8:30 ホテル→メイプルパークゴルフコース→道産市場 (お買物) →新千歳空港→※→成田空港(19:20頃)到着後 各自解散 ※復路は全員バニラエア便を利用します。	朝: ホテル 昼: 弁当 夜: ×

○札幌ドームにおけるPR

県と連携して、「北海道から関東へ北海道日本ハムファイターズの応援に行くなら 成田LCCがオトク！」と題して、PRを行った。

- ・日時: 平成28年9月7日 (水)
- ・場所: 札幌ドーム
- ・内容:
 - ①札幌ドーム入場者にチラシの配布 (15,000部)
 - ②県との共同ブースにおける、ポスター等の展示、チラシ配布、野球観戦における航空機利用に係るアンケート・プレゼント抽選会の実施

○函館プロモーション

バニラエアの成田-函館線新規就航に伴い、成田国際空港株式会社、バニラ・エア株式会社と連携して、成田空港及び千葉県の魅力を紹介するプロモーションを実施した。

また、日本パークゴルフ協議会道南連絡会、函館市パークゴルフ協会、函館空港関係者を訪問し、これまでの札幌地域に加え、函館地域との交流促進について意見交換を行った。

加えて、パークゴルフ新聞へ広告出稿を行い、新規就航を広くPRした。

《函館線新規就航イベント》

- ・日時: 平成29年2月19日 (日)
- ・場所: 函館空港内

- ・内 容：函館から成田空港へ出発するお客様を対象としたセレモニーにて記念品、PRチラシ等の配布を行った。

《函館地域のパークゴルフ場関係者及び空港関係者との意見交換》

- ・日 時：平成29年2月19日（日）、20日（月）
- ・内 容：函館ー成田線の新規就航にかかるPR

《パークゴルフ新聞への広告出稿》

- ・時 期：パークゴルフ新聞3月号（2月25日発行 7万部）
- ・内 容：函館地域のパークゴルフ愛好家に対し、冬場は新規就航した成田LCCを利用して、千葉でパークゴルフができることをPRした。

○北海道・千葉交流パークゴルフ大会IN千葉

9月に実施した「北海道・千葉交流パークゴルフ大会IN北海道」及び千葉からのモニターツアーに続き、「北海道・千葉交流パークゴルフ大会IN千葉」を実施し、相互交流の更なる促進を図った。（大会は荒天のため当日中止）

また、大会にあわせて北海道からの「パークゴルフモニターツアー」や、北海道・千葉双方のパークゴルフ場関係者などによる「パークゴルフを通じた北海道と千葉県の連携に係る意見交換」を実施し、相互インセンティブの付与や共同PRなど、協定書の締結を含め更なる交流促進に向け検討することで合意に達した。

《パークゴルフ大会》

- ・日 時：平成29年3月15日（水）
- ・場 所：タケエイ・エコパークゴルフ大木戸
- ・内 容：開会式、競技、表彰式
- ・参加者：239名（千葉県からの参加者194名、北海道から参加者45名）

当日荒天のため、大会は中止となり、景品の抽選会のみ実施した。

《モニターツアー》

北海道・千葉交流パークゴルフ大会IN千葉の開催にあわせて、LCCや北海道でのパークゴルフを体験していただくモニターツアーを実施した。

パークゴルフの合間には、イチゴ狩りや酒蔵見学を行った。

- ・日程：平成29年3月13日（月）～16日（木）
- ・参加者：45名
- ・旅行主催者：北海トラベル株式会社（札幌市）

・利用航空会社：バニラエア

・ツアー行程

日次	月日	行程	食事
1 日目	3月13日 (月曜日)	10:40 JW906 12:25 新千歳空港→→成田空港→エコパークゴルフ大木戸→ホテル 宿泊先：蓮沼ガーデンハウスマリーノ	朝：× 昼：× 夜：ホテル
2 日目	3月14日 (火曜日)	ホテル→佐倉グリーンパーク(午前)→しすいの森パークゴルフ場(午後)→ホテル 夜 ホテルにて歓迎レセプション(18:00～) (歓迎レセプションでは景品が当たる抽選会も開催) 宿泊先：蓮沼ガーデンハウスマリーノ	朝：ホテル 昼：クラブ ハウス 夜：歓迎レセ プション
3 日目	3月15日 (水曜日)	ホテル→エコパークゴルフ大木戸 (北海道・千葉交流パークゴルフ大会 in 千葉) 当日中止 →イチゴ狩り(石橋イチゴ園)→ホテル→守屋酒造→ホテル 宿泊先：蓮沼ガーデンハウスマリーノ	朝：ホテル 昼：クラブ ハウス 夜：ホテル
4 日目	3月16日 (木曜日)	ホテル→蓮沼海浜公園パークゴルフ場→道の駅オライはすぬま → 15:15 JW919 17:00 成田空港→→新千歳空港 到着後解散	朝：ホテル 昼：道の駅 夜：×

《パークゴルフを通じた北海道と千葉県の連携に係る意見交換》

北海道と千葉県のパークゴルフを通じた継続的な交流を促進するため、北海道と千葉県のパークゴルフ場関係者等を交えて、今後の道県間のパークゴルフ場の連携の仕組みづくりについて意見交換を行なった。

- ・日 時：平成29年3月14日(火)
- ・場 所：蓮沼ガーデンハウスマリーノ 2階 さざなみ
- ・出席者：北海道のパークゴルフ場関係者、関東パークゴルフ場協議会、千葉県、成田国際空港株式会社、成田空港活用協議会
- ・内 容：今後の連携の仕組みづくりについての意見交換
北海道・千葉県のパークゴルフ場におけるインセンティブの付与
北海道・千葉県のパークゴルフ場における相互PRの実施 他

② 女子旅×成田LCCの更なる展開について

平成27年度学生連携事業として実施した『女子旅×成田LCC』の発展形として、ターゲットである若年層の女性が良く利用するWEB媒体、SNSを活用し千葉県やLCCの魅力について情報発信を行った。

また、就航先からの学生を千葉県へ招待するモニターツアーを実施し学生同士の交流を行った。

〇WEBプロモーション

若い女性が思わずスマホでシェアしたくなるようなおすすめ旅情報を紹介しているウェブサイトである「ウレぴあ総研『スマホ女子旅』特集」を活用して、昨年度制作した女子旅×成田LCCサポートブック掲載内容やターゲット層に関心のあるテーマや千葉県の魅力等についてWEB記事配信を行った。

《配信記事》

- ・『千葉でいくつの“奇跡”を目撃できる!? 絶景シーサイドスポット7選』
- ・『パワースポット、レトロな街並み…旅にちょい足し！成田空港周辺おすすめスポット 11選』
- ・『もふもふ天国♡「アイドル動物」たちに癒される、千葉おすすめスポット7選』
- ・『世界にひとつ”が手に入る！千葉ならではの「人気体験スポット」5選』

〇学生によるSNSを活用した情報発信等

《Instagramアカウント『女子旅by成田LCC』での情報発信》

「女子旅」をコンセプトとした画像を紹介するアカウントを開設。ユーザー同士が「#lcc 女子旅」というハッシュタグ（#）を付与して投稿したものを、当アカウントで毎日紹介するほか、LCC就航先の写真を投稿いただくキャンペーンなどを実施した。

開始から5か月でフォロワー数3,000人を突破。「#lcc 女子旅」を付与した投稿も15,000件を超えた。

開始時期：平成28年10月18日（火）から平成29年3月27日まで

《千葉県情報、LCC情報の発信》

学生メンバーが実際に千葉県内のスポットを現地調査し、ブログでの情報発信を行った。また、ブログ内では、LCC情報（航空券の買い方、路線の紹介）など、学生のLCC旅行において気になる情報の発信を行った。

ブログ記事は、SNS（Facebook、Twitterなど）とも同期させ、各媒体を通じた情報拡散も展開した。

〇千葉県モニターツアーの開催

成田LCC就航先3都市（広島、福岡、那覇）の大学生8名を千葉県に招待し、LCCや千葉県内のおすすめスポットを実際に体験してもらった。体験の様子は参加者各自のSNSなどで情報発信してもらうとともに、モニター

ツアーの印象、実際にLCCを利用した感想などをブログ、Facebookなどで発信した。

また、就航先学生、プロジェクト参加学生、成田空港、千葉県などを交えた意見交換会、交流イベントを実施した。

日程：平成29年2月26日（日）～28日（火） 2泊3日

③ スポーツツーリズムをテーマとした就航先との交流促進

千葉県内プロスポーツチームと連携し、アウェー戦観戦には安くて、便利な成田LCCを利用してもらえるようなPRを行った。また、就航先チームのファンにも成田LCCの魅力をPRすることで誘客、送客一体となった相互交流を行った。

○千葉ロッテマリーンズ

《QVC マリンフィールドでのPR》

豊富な成田空港国内線ネットワークやLCCの安さの秘密、他の交通手段との比較などを紹介するチラシを配布。

また、チラシ内にあるQRコードからアンケートに回答いただいた方の中から抽選で、マリーンズ選手の直筆サイン入りユニフォーム（10名）などが当たるキャンペーンを実施した。

日 程：8月 2日（火）北海道日本ハムファイターズ戦

8月14日（日）福岡ソフトバンクホークス戦

8月30日（火）大阪オリックスバファローズ戦

配布場所：QVCマリンフィールド 入場ゲート

配布枚数：3試合 合計45,000枚

《千葉ロッテマリーンズ会報誌への広告掲載》

媒体：マリーンズマガジン 8月号

発行：5万部/月

《成田LCC利用ビジター戦応援ツアーの実施》

千葉ロッテマリーンズの協力により、これまで羽田空港発のツアーしかなかった千葉ロッテオフィシャルファンツアーに、成田LCCを利用したツアーを追加した。当協議会からは、ツアー参加者にマリーンズ選手の直筆サイン入りビジター戦ユニフォームや応援メガホンをプレゼントした。

（7月～9月 89名利用）

○ジェフユナイテッド千葉

《フクダ電子アリーナでのPR》

日程：平成28年8月7日（日）

内容：

①ブースでのPRイベント

スタジアム前において、アンケートに回答いただいた方を対象に、ジェフ千葉選手の直筆サイン入り2016レプリカゲームシャツや成田空港活用協議会オリジナルQUOカード、熊本銘菓のフジバンビ黒糖ドーナツ棒が当たる抽選会を行った。

また、8月14日（日）のロアッソ熊本戦に向け、多くのジェフファンの皆様から、熊本復興への募金活動や熊本の方への応援メッセージをお預かりした。

②スタジアム内大型ビジョンでのPR

スタジアム内の大型ビジョンにおいて、『アウェー戦には安くて便利な成田LCCを！』のCMを放送した。

③スタジアム入場時のチラシ配布

豊富な成田空港国内線ネットワークやLCCの安さの秘密などを紹介した。
(配布枚数10,000枚)

《ジェフユナイテッド千葉会報誌への広告掲載》

多くのジェフサポーターに成田LCCの魅力を知っていただくため、会報誌「UNITED」8月号へ広告を掲載した。

○熊本県、県民運動推進本部、ロアッソ熊本と連携したプロモーション

《うまかな・よかなスタジアムでのPR》

日程：8月14日（日）

内容：

①試合開始前セレモニー

8月7日（日）にジェフサポーターの皆様からお預かりした熊本復興募金及びメッセージを「ロアッソ熊本をJ1へ」県民運動推進本部（熊本）へとお渡しするセレモニーをサッカーフィールドで実施した。

②ブースでのPRイベント

スタジアム内コンコースにおいて、アンケートに回答いただいた方を対象に、ロアッソ熊本選手の直筆サイン入りユニフォームや成田空港活用協議会オリジナルQUOカード、成田国際空港グッズなどが当たる抽選会を行った。

③スタジアム入場時のチラシ配布

豊富な成田空港国内線ネットワークやLCCの安さの秘密などを紹介した。
(配布枚数7,000枚)

④スタジアム内大型ビジョンでのPR

スタジアム内の大型ビジョンを使い、『アウェー戦には安くて便利な成田LCCを!』のCMを放送した。

イ 海外向け誘客促進

○タイ王国メディア関係者の招請

千葉県やナリタの魅力をより多くの外国人に伝えるため、(公財)ちば国際コンベンションビューロー、(公社)千葉県観光物産協会及び千葉インバウンド促進協議会と連携して、タイ王国のメディア関係者を招請し、県内観光ツアーを実施した。

実施日：平成28年6月14日～17日

<日程>

6月14日	空の駅さくら館、成田山新勝寺、米屋観光センター、佐原(小江戸の町並み、小野川観光船)、銚子電鉄、犬吠埼灯台、犬吠埼ホテル
6月15日	銚子市魚市場、屏風ヶ浦、龍福寺、道の駅「季楽里あさひ」、マザー牧場、鋸山、三井アウトレットパーク木更津、オークラアカデミアホテル
6月16日	海ほたる、千葉都市モノレール試乗、ドラゴンファーム(ブルーベリー狩り)、大江戸温泉万華鏡、三社祭山車見学、オリエンタルホテル東京ベイ
6月17日	東京ディズニーリゾート、成田空港視察

<招請メディア>

名称	媒体形式	発行部数等
Kom Chad Luek	日刊紙	900,000部/日
Daily News	日刊紙	850,000部/日
PRaew	隔週誌	300,000部/月
GM Travel Magazine	月刊誌	80,000部/月
Honeymoon Travel	月刊誌	80,000部/月
TAMAGO	月刊誌/Free	100,000部/月

Lisa	隔週誌	150,000 部/刊
Travel T360 Thailand – Inflight Mag	月刊誌/機内誌	30,000 部/月
EDT Guide.com	旅行サイト	1,127,169 いいね/Facebook
High on Dream	ブロガー	97,228 いいね/Facebook
Barefoot	月刊誌	50,000 部/月
Marumura.com	旅行サイト	180,884 いいね/Facebook
Travel Blogger – Forzanu	ブロガー	14,909 いいね/Facebook

○ランドオペレーターとの商談会の開催

千葉インバウンド促進協議会と共同で、旅行の地上手配を行うなど旅行商品の造成に深く関わるランドオペレーターに対して、会員企業・団体が直接PRすることで今後の旅行商品の造成につなげることを目的として開催した。

実施日：平成28年12月1日（木）

会場：スパ&リゾート太陽の里九十九里

参加者：ランドオペレーター 11社

会員企業・団体 34団体（社）

（千葉インバウンド促進協議会会員を含む）

○海外向けWEBでの情報発信

千葉県やナリタの魅力をより多くの外国人に伝えるため、会員と連携して成田空港を起点とした観光やグルメスポットについて、外国人向けウェブマガジンによる多言語の情報発信を行なった。

媒体：外国人向けウェブマガジン「Matcha」

配信言語：8か国語

（2）空港利用促進事業

ア 関東圏でのナリタPR

① 県内、首都圏エリアにおけるナリタPR

成田空港をより積極的に利用してもらえるよう、成田空港の豊富なネットワークやターミナル、アクセス利便性のPR・情報発信キャンペーンを、県内・首都圏エリアを中心に展開した。

○モノレールラッピング広告

千葉都市モノレール車両のラッピング広告

期間：平成28年4月1日（金）～平成29年3月31日（金）

○成田空港と県内観光地を結ぶ高速バス実証運行事業連動プレゼント企画

千葉県の実施した成田を基点とした高速バス利用者に対し、成田空港の豊富なネットワーク等のPRチラシを配布するとともに、クオカードが当たるプレゼントキャンペーンを実施した。

期間：平成28年9月17日（土）～10月31日（月）

対象：応募件数1,111件

○県期間限定アンテナショップ「ちばI・CHI・BA」でのプロモーション

出張や旅行などで成田空港を利用してもらうことを目的に抽選会の実施とパンフレットの配布などを行い、首都圏から成田空港への充実した交通アクセスや豊富な就航先についてPRした。

日程：平成28年12月8日（木）

場所：JPタワー「KITTE」地下1階

東京シティアイパフォーマンスゾーン

対象：丸の内周辺に勤務するサラリーマンやOL 200名

○県内成人式におけるプロモーション

46会員市町村の協力を得て、新成人約40,000人に対し、お祝いメッセージとともに、会員航空会社の航空券等が当たるプレゼントキャンペーンを実施した。

期間：平成29年1月7日（土）～10日（火）

対象：新成人 約40,000人

② 北関東でのナリタPR

平成29年2月26日の圏央道境古河―つくば中央間の開通により、成田空港へのアクセス利便性が向上する北関東エリアにおいて、成田空港が便利であることを知ってもらう“認知度向上”を目的とした旅行需要喚起策を画った。

○栃木におけるPR

千葉県観光誘致促進課及び千葉県観光物産協会と連携して佐野サービスエリアにてPRを行った。

日程：平成29年3月11日（土）、3月12日（日）

場所：佐野サービスエリア（東北自動車道）

内容：チラシ及びグッズ配布

○ハイウェイウォーカー4月号への広告掲載

発行日：平成29年3月20日（月）

配布場所：NEXCO東日本管内のSA・PA（186カ所）

発行部数：約90万部

イ ナリタファンの拡大に向けた取組

○教職員モニターツアー

小学校における社会科見学は、学校生活の中でも大きな思い出となることから、「ナリタファン」の増加を図るため、県内の小学校教職員を対象に教職員向けのモニターツアーを実施した。

実施日：平成28年8月3日（水）、5日（金）

参加者数：小学校の教職員等 千葉発27名 柏発23名

見学先：成田空港、航空科学博物館、房総のむら

○成田空港親子見学バスツアー

県内在住の小学4～6年生とその保護者を対象に、成田空港及びその周辺に親しむことにより、成田空港を身近に感じ、「ナリタファン」になっていただくため、バスツアーを実施した。

実施日：柏 発 10月22日（土）

千葉 発 10月30日（日）

茂原 発 11月12日（土）

木更津 発 11月26日（土）

参加者数：合計155名

見学先：成田空港、（ランプコントロールタワー）航空科学博物館、
成田ゆめ牧場

(3) ビジネス支援事業

ア 会員の新たな事業・ビジネス展開に向けた協働の場づくり

○成田空港からの二次交通等に関する研究会

1. 事業の概要

● 研究会のメンバー

地元自治体 (鴨川市、勝浦市)

地元観光業者 (千葉県旅館ホテル組合)

地元観光団体 (鴨川市観光協会、勝浦市観光協会)

地元商工会 (鴨川市商工会、勝浦市商工会)

千葉県 (空港地域振興課、交通計画課、観光企画課、観光誘致促進課)

成田国際空港(株)

(株)ちばぎん総合研究所

2. 研究会の概要

● 第1回 (ワークショップ①)

日 程 5月26日 (木) 10:00~12:00

開催場所 プラザ菜の花「特別会議室」

内 容 (1) 研究会の概要説明

(2) メンバー紹介

(3) 平成27年度実証実験結果の概要

(4) 地元受入体制のメニューづくり

● 第2回 (ワークショップ②)

日 程 11月24日 (金) 13:30~15:30

開催場所 鴨川市役所 7階 会議室

内 容 (1) 観光の現状・課題の確認

(2) 県高速バス実証実験・予約状況の確認・分析

(3) バス運行シミュレーション結果の確認

(4) 運行実現のための課題と取組方向の検討

(5) 研究会の今後の活動について

(6) その他

・シャトルバス鴨川・小湊温泉号について

●第3回 (ランドオペレーター(株)PEJとの意見交換会)

日 程 12月20日(水) 13:00~15:00

開催場所 メルキュールホテル成田「ボードルーム」

内 容 (1) 成田空港活用協議会から(株)PEJ 朴社長への質問
(2) 鴨川・勝浦からランドオペレーターへのプレゼン
(3) 鴨川・勝浦と朴社長とのインバウンド誘致に向けた
意見交換

●第4回 (ランドオペレーター(株)PEJの鴨川市・勝浦市現地視察)

日 程 2月24日(金) 2月25日(土) 1泊2日

視察場所 ①鴨川市内視察・体験(2/24)

及び内容 鯛の浦遊覧船、祭り寿司づくり体験等8か所視察・体験
鴨川ユニバースホテル会議室にて意見交換会

②勝浦市内視察・体験(2/25)

朝市、勝浦ビッグひな祭り(遠見岬他)等8か所視察

松の家2階広間にて意見交換

かつうら海中公園レストランにて意見交換

●第5回 (ワークショップ③)

日 程 3月17日(金) 13:30~15:30

開催場所 プラザ菜の花「特別会議室」

内 容 (1) 運行実現のための課題と取組方向の確認

①バス運行シミュレーション結果の再確認

②取組の目的と考え方

(2) インバウンド受入体制づくり

①ランドオペレーターとの事前の意見交換

②ランドオペレーターによる現地視察

③他地域と連携したメニュー開発の視点

- ④勝浦・鴨川地域での受入（滞在）メニューの検討
- (3) 研究会の活動経緯と今後の活動について
- (4) その他

○成田空港と圏央道を活用した地域開発プロジェクト研究会の実施

成田空港や圏央道の整備の進展により、千葉県のパテンシャルは飛躍的に高まっており、その効果を千葉県経済の活性化につなげていくことがこれまで以上に重要になってきているなかで、産業振興と雇用創出に向けた地域開発プロジェクトがどのように構想・実現されるのかを地元自治体、経済団体及び金融機関等とともに学ぶ機会として、県内商工会議所6団体（千葉、木更津、茂原、八街、東金、市原）との共催により3回にわたって「成田空港と圏央道を活用した地域開発プロジェクト研究会」を開催した。

《第1回》

日 時：平成29年1月25日（水）13：30～15：30

場 所：東金文化会館

テーマ：圏央道エリアの課題と認識の共有

内 容：地域経済・産業振興・雇用機会の創出に向けた民間デベロッパーからの課題提起と考察

講師 (株)フジタ 営業本部 理事 岡山 幸次郎 氏

参加者：46名

《第2回》

日 時：平成29年2月8日（水）9：00～17：45

場 所：伊勢原市東部第二地区 区画整理事業区域内

テーマ：圏央道周辺の工業系土地区画整理事業の現地視察

内 容：①現地視察、事業概要、伊勢原市東部第二地区区画整理組合及び業務代行者（フジタ）との意見交換

②土地区画整理事業立ち上げの背景、経緯、事業立ち上げのポイント、伊勢原市都市部新産業拠点整備課との意見交換

参加者：25名

《第3回》

日 時：平成29年3月21日（火）13：30～15：30

場 所：東金商工会館

テーマ：圏央道エリアにおける開発事業推進手法等について

内 容：①開発事業推進手法について

講師 (株)フジタ 地域開発推進部 営業部長 鎰谷 聡 氏

②圏央道エリアの企業ニーズと企業誘致の方策

講師 (株)フジタ 営業本部 理事 岡山 幸次郎 氏

参加者：40名

イ 経済活性化セミナー

○『第1回県内経済活性化ビジネスセミナー「成田空港圏における物流動向調査～物流ポテンシャルの活用による千葉県経済の活性化に向けて～」』の実施

平成27年度に実施した「成田空港圏における物流動向調査」の結果を報告した。

また、分析した内容から、成田空港の更なる機能強化の推進、圏央道及び幹線道路の整備推進、既存産業の活性化及びオール千葉県での企業誘致活動の推進の重要性を解説した。

実施日：平成28年5月16日（火）

会 場：三井ガーデンホテル千葉3階「平安」

内 容：テーマ「成田空港圏における物流動向調査」

講 師 (株)ちばぎん総合研究所 調査部長 関 寛之 氏

参加者：126名

○『第2回県内経済活性化ビジネスセミナー「今しか聞けないインバウンド」』の実施

国内旅行需要が減少する中、如何にインバウンドを取り込んでいくかが観光による地域経済活動を活性化するうえで重要な鍵となることから、インバウンドの意義や経済効果等について、会員等の理解をより一層高めることを目的にセミナーを開催するとともに、あわせて、交流会を開催し、講演者と会員等の相互交流を図った。

実施日：平成28年11月9日（水）

会 場：三井ガーデンホテル千葉3階「平安」

内 容：

- ・基調講演 I 「基礎からわかるインバウンド観光」

講師 早川 康一氏（千葉インバウンド促進協議会会長、

マロウドインターナショナルホテル成田取締役総支配人）

- ・基調講演Ⅱ「高山市の海外戦略への挑戦」
講師 田中 明氏（高山市ブランド・海外戦略部長）
- ・パネルディスカッション「本気で取組むインバウンド」
モデレーター 小松 孝之氏（成田空港活用協議会経済活性化部会長、
（株）ちばぎん総合研究所調査部部長）
パネリスト 鈴木 健史氏（㈱鴨川グランドホテル代表取締役）
朴 恩子氏（㈱P E J代表取締役）
早川 康一氏 田中 明氏

ウ マーケットリサーチ

○千葉県のインバウンドの対応力向上に向けた調査の実施

当協議会では、2014年にインバウンド動向調査を実施し、外国人訪日客のニーズや外国人の目線からみた不満や改善すべき点などについて洗い出しを行った。本調査は、同調査の後継調査として位置づけ、当協議会会員及び千葉県内企業のインバウンドに対する期待及び対応状況を明らかにするなかで、各主体（企業・団体・自治体）が今後取り組むべきことを「見える化」することを目的に実施した。

[調査の内容]

○調査期間：平成28年11月から平成29年3月

①企業・団体・自治体向けアンケート調査

調査対象：成田空港活用協議会の会員146団体、県内自治体
県内に本社がある企業約5,000社

調査項目：

《企業・団体向け》

- ・現在の業況（景況感）及び今後の見通し
- ・インバウンドが与える影響（自社の業績・地域経済）
- ・インバウンドに対する期待
- ・インバウンド向け対応（現状・今後の見通し）
- ・インバウンド向け対応を進める際の問題点・課題
- ・（団体向け）インバウンド対応を進めている会員企業【ご紹介】など

《自治体向け》

- ・インバウンドに対する期待
- ・インバウンドの取り込みに向けた施策・事業（現状・今後の見通し）
- ・インバウンドの取り込みに向けた連携状況

- ・インバウンド対応の課題
- ・地域内でインバウンド対応に熱心な取り組み【ご紹介】など

②先進事例調査

調査対象：地方創生関連の交付金事業でインバウンド関連事業を行っている自治体

インバウンド対応に取り組んでいる民間の事例：5～10 先程度

調査項目：取組経緯／取組概要／取組効果／今後の課題／見通しなど

(4) 要望活動

○首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望

昨年度に引き続き、圏央道に係る要望に加え、新たに北千葉道路の整備推進に関する要望活動を、関係2団体とともに、国等関係先に対して行った。

実施日：平成28年11月22日（火）

要望先：財務大臣、国土交通大臣、副大臣、政務官ほか国土交通省幹部職員及び
県選出国會議員

同時に要望した関係団体：

千葉県議会首都圏中央連絡自動車道推進議員連盟

首都圏中央連絡自動車道建設促進県民会議

(5) 会員提案の検討・実施

○会員提案の募集

本県の経済活性化につながる取組として、他の会員との連携・協働により実現したいこと及び協議会事業全般についての自由意見を募集した。

募集期間：平成28年4月18日（月）～5月10日（火）まで

提案状況：① 他の会員との連携・協働で実現したいこと（19件）

② 自由意見件数（6件）

○会員提案の検討・具体化（平成28年度事業への取り入れ）

平成28年度事業計画に位置付けられている以下の事業に会員提案を取り入れ実施した。

- ・北海道・千葉パークゴルフ交流大会及びモニターツアーの実施（H26提案）
- ・海外のポータルサイト等を利用したWEBでの情報発信（H28提案）
- ・千葉県高速バス実証運行事業と連携した空港利用促進事業の実施
(H27提案)

- ・タイ王国からのメディア招聘事業の実施（H 2 8 提案）
- ・ランドオペレーターとの商談会の実施（H 2 6 提案）
- ・スポーツツーリズムをテーマとした国内線就航先との連携（H 2 8 提案）
- ・北関東エリアの商業施設等でのイベント開催（H 2 8 提案）
- ・インバウンドに関するセミナーの実施（H 2 8 提案）
- ・成田空港からの二次交通の確保に向けた検討（H 2 7 提案）
- ・成田空港や圏央道等を活用した産業振興に向けた検討（H 2 8 提案）
- ・圏央道の早期全線開通にかかる要望活動（H 2 5 提案）
- ・北千葉道路整備の早期事業化にかかる要望活動（H 2 5 提案）

（6）その他

- 協議会の活動を広く広報するため、プレスリリースはもとより、各種メディア媒体の利用や報道機関へのアプローチを展開することにより、メディアへの露出を積極的に図った。
- 協議会の会員向けにメール等での情報発信を行い、会員間における活動状況や成果の共有を図った。
- 会員が主催するイベントに対する後援や、会員によるプロモーションと連携・連動し、協議会及び協議会会員のPRを行った。
 - ・「国際フェスティバル世界市」への協賛&PR
 - 実施日：平成28年10月8日（土）、9日（日）
 - 会 場：さいたまスーパーアリーナ前けやき広場
- 会員による積極的な成田空港利用を促す取組として、会員旅行会社、会員エアラインと共同で、会員による成田空港利用の旅行への補助や既存の旅行商品に特別割引を付加した会員向け旅行商品のアレンジのほか、成田空港を利用した団体旅行や成田空港を発着する会員エアラインを利用した個人旅行に対して航空券代金の補助を実施した。

利用実績：①個人向け旅行商品プラン 9名
 ②団体向け旅行プラン 1団体
 ③個人向け航空券プラン 100名

(参考) 会議等の開催状況

(1) 総会

期 日：平成28年5月16日（月）

場 所：三井ガーデンホテル千葉

議 題：① 役員を選任について

② 平成27年度事業報告について

③ 平成27年度収支決算について

④ 平成28年度事業計画（案）について

⑤ 平成28年度収支予算（案）について

(2) 幹事会

【第1回】

期 日：平成28年4月27日（水）

場 所：千葉県経営者会館2F特別会議室

議 題：(1) 平成28年度総会議案について

(2) 総会に向けた確認事項について

(3) 平成28年度事業スケジュール(案)について

【第2回】

期 日：平成28年5月31日（火）

場 所：千葉県経営者会館2F特別会議室

議 題：(1) 報告案件

① 成田空港からの二次交通等に関する研究会について

② 第1回県内経済活性化ビジネスセミナーについて

(2) 事業採択案件

① 北海道との相互交流の促進について

② 女子旅×成田LCCの更なる展開について

③ スポーツツーリズムをテーマとした就航先との交流促進について

④ 海外向け誘客促進について

⑤ ナリタファンの拡大に向けた取組について

⑥ 会員の成田空港利用促進に向けた取組について

【第3回】

期 日：平成28年8月25日（木）

場 所：千葉県経営者会館2F特別会議室

議 題：(1) 事業採択案件

- ① 利用促進キャンペーンについて
- ② 沿線開発プロジェクト構想研究会について
- (2) 協議事項
 県内経済活性化セミナー及びマーケットリサーチについて
- (3) 報告事項 (状況報告含む)
 - ① 海外向け誘客促進について
 - ② ナリタファンの拡大に向けた取組について
 - ③ スポーツツーリズムをテーマとした就航先との交流促進について
 - ④ 北海道との相互交流の促進について

【第4回】

期 日：平成28年10月5日 (水) (書面による事業採択)

- 内 容：① インバウンドセミナーの実施について
- ② ランドオペレーターとの商談会・交流会の実施について

【第5回】

期 日：平成28年11月15日(火) (書面による事業採択)

- 内 容：① マーケットリサーチ (千葉県のインバウンドの対応力向上に向けた調査)
- ② 首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望について

【第6回】

期 日：平成29年2月2日 (木)

場 所：千葉県経営者会館2F 特別会議室

議 題：(1) 協議事項

- 成田空港活用協議会の今後の方向性について
- (2) 報告案件 (状況報告を含む)
 - ① 北海道との交流の促進について
 - ② 北関東向けPRについて
 - ③ 女子旅×成田LCCについて
 - ④ 第2回県内経済活性化ビジネスセミナーについて
 - ⑤ ランドオペレーターとの商談会について

【第7回】

期 日：平成29年3月28日（火）

場 所：千葉県経営者会館2F特別会議室

議 題：（1）協議事項

- ① 平成28年度事業報告（素案）及び決算（見込み）について
- ② 平成29年度事業計画（素案）及び予算（素案）について
- ③ 平成29年度総会次第（案）について

（2）事業採択案件

- ① 平成29年度第1回県内経済活性化ビジネスセミナーについて

（3）報告事項

- ① 北海道との交流の促進について
- ② スポーツリズムをテーマとした就航先との交流の促進について
- ③ 女子旅×成田LCCの更なる展開について
- ④ 海外向け誘客の促進について
- ⑤ 成田空港利用促進キャンペーン
- ⑥ ナリタファンの拡大に向けた取り組みについて
- ⑦ 成田空港からの二次交通等に関する研究会について
- ⑧ 地域開発プロジェクト研究会について

平成28年度 収支決算

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

【収入の部】

(単位:円)

科 目	予算額①	決算額②	差引き ②-①	摘要
1. 負担金	46,700,000	46,700,000	0	
2. 会 費	7,800,000	7,750,000	△ 50,000	会員1社退会
3. 繰越金	11,383,009	11,383,009	0	
合 計	65,883,009	65,833,009	△ 50,000	

【支出の部】

(単位:円)

科 目	予算額①	事業間 振替額②	最終予算額 ①+②	決算額③	差引き ①+②-③	摘要
1. 活動費	42,300,000	0	42,300,000	39,446,155	2,853,845	
(1) 誘客促進費	17,000,000	6,150,000	23,150,000	23,122,266	27,734	
国内線就航先との 交流促進	13,000,000	7,278,000	20,278,000	20,277,706	294	北海道との交流促進(パークゴルフ)、学生アイデア(女子旅×成田LCC)、スポーツツーリズム(野球・サッカー)
海外向け誘客促進	4,000,000	△1,128,000 国内線へ振替	2,872,000	2,844,560	27,440	ラントオペレーターとの商談会実施、タイメディア招請
(2) 空港利用促進費	12,800,000	△ 5,250,000	7,550,000	7,259,618	290,382	
関東圏でのナリタPR	11,000,000	△4,850,000 国内線へ振替	6,150,000	5,962,176	187,824	ハイウェイオーカー広告掲載、モルレル車体ラッピング、成人式チラシ作成、
ナリタファン	1,800,000	△400,000 国内線へ振替	1,400,000	1,297,442	102,558	親子バスツアー、教職員モニターツアー
(3) ビジネス支援費	9,500,000	△ 900,000	8,600,000	7,816,545	783,455	
協働の場づくり	3,000,000		3,000,000	2,250,954	749,046	二次交通ワークショップ、地域開発プロジェクト
経済活性化セミナー	2,500,000	△900,000 国内線へ振替	1,600,000	1,567,311	32,689	成田空港圏における物流動向調査、インバウンドセミナー
マーケットリサーチ	4,000,000		4,000,000	3,998,280	1,720	千葉県のインバウンドの対応力向上に向けた調査
(4) 活動共通費	3,000,000	0	3,000,000	1,247,726	1,752,274	総会費用、広告掲載、パンフ作成
2. 運営費	17,800,000	0	17,800,000	17,229,093	570,907	
(1) 人件費	13,500,000	0	13,500,000	13,000,351	499,649	事務局職員給与、諸手当等
(2) 管理費	3,300,000	△74,000 事務費へ振替	3,226,000	3,154,864	71,136	賃室料、事務机・パソコンリース代等
(3) 事務費	1,000,000	74,000	1,074,000	1,073,878	122	印刷費、電話代他
3. 予備費	5,783,009	0	5,783,009	0	5,783,009	
(1) 予備費	5,783,009	0	5,783,009	0	5,783,009	
合 計	65,883,009	0	65,883,009	56,675,248	9,207,761	

* 事業間振替は、事業採択時において幹事会に図ったものである。

【収支差額】

(単位:円)

科 目	金 額	摘 要
収入の部	65,833,009	
支出の部	56,675,248	
収支差額	9,157,761	

* 平成28年度の収支差額については、全額を平成29年度に繰り越して用いる。

平成28年度 成田空港活用協議会監査結果について

平成28年度成田空港活用協議会決算について、平成29年4月25日及び
4月26日に監査したところ、適正に執行されていると認める。

平成29年4月26日

成田空港活用協議会

監事 和泉善久 

監事 平 栄三 

平成29年度 事業計画（案）

《事業展開方針》

国が2020年の訪日外国人旅行者数の目標4000万人を掲げる中、東京オリンピック・パラリンピックの一部競技の県内開催や成田空港の機能の拡充など、千葉県と成田空港を取り巻く環境が更に大きく変化しています。

こうした中、活動最終年に当たる今年度は、これまで以上に、会員の新たなビジネス展開に資する連携・協働の場や情報の提供に取り組むとともに、これまで培ってきた就航先との連携・交流の発展、一層魅力を増す“ナリタ”を発信することなどにより、成田空港の成長と千葉県経済の活性化を図っていく。

○ 会員の新たなビジネス展開に向けた会員間の連携・協働の場や情報の提供の充実

- 会員のニーズに合わせた、県内経済活性化ビジネスセミナーやマーケットリサーチの充実などによるビジネス展開の支援
- 複数の会員が持つ課題の解決に向けた場の提供

○ 実需拡大に向けた“ナリタ”の魅力の更なる発信

- 圏央道の開通などによる交通利便性の向上や千葉県・成田空港の魅力（温暖な気候、豊かな自然・絶景、豊富な国際線ネットワーク、国内線LCC等）の発信
- 会員連携やWEBの活用によるインバウンド観光促進に向けた千葉県の魅力の情報発信
- 県内の“カタファン”拡大に向けた取組や女子旅×成田LCCを活用した情報発信

○ 就航先等との連携・交流を通じた誘客促進

- これまでに培った就航先との連携を生かし、スポーツツーリズムなどをテーマとした、「誘客」「送客」一体となった双方向の地域間交流の進展

○ これまでの活動の総括と今後の展開の検討

- これまで実施した事業の成果を総括し、今後の成田空港を活用した千葉県経済の活性化に向けた取組の方向性について検討を行う
- 会員等が引き継ぐ事業については、当該会員との連携の強化

《事業内容》

(1) 誘客促進事業

ア 国内線就航先との交流促進

- 平成25年度から推進してきた相互交流を踏まえ、北海道との双方向での交流の継続に向けた取り組みを推進する。

[展開イメージ]

- ① パークゴルフ等を活用した、継続的な交流に向けた枠組みづくり
- ② 経済団体等と連携した相互交流の促進 等

- 「女子旅×成田LCC」では、千葉県とLCCの魅力を継続して情報発信するとともに、就航先の学生等と連携した相互交流を促進する。

- 就航先の空港利用促進団体や自治体などと、これまでに培った連携を活かし、スポーツツーリズムや食をテーマとした相互交流を推進する。

[展開イメージ]

- ① サッカーやバスケットボール等を活用した双方向交流
- ② 千葉の食を活用した情報発信 等

- 就航先メディア等を活用した千葉の魅力や成田LCC等の情報発信を行う。

[展開イメージ]

- ・クロスメディアと連動した旅行商品造成による効果測定 等

- 会員が実施する事業と連携して、千葉の魅力発信と受け入れ体制の構築支援などに効果的な事業を展開する。

イ 海外向け誘客促進

成田空港からの訪日外国人の県内誘客を図るため、会員や関連する組織と連携・協力して、情報やノウハウを有する会員のサポートを得ながら、会員と連携したプロモーションや商談会などを展開していく。

[展開イメージ]

- ① 県など会員と連携した、現地でのプロモーション
- ② ランドオペレーターを活用した誘客促進 等

(2) 空港利用促進事業

ア 関東圏でのナリタPR

- 圏央道の茨城・埼玉区間の開通を生かし、空港利用者の取り込みに向けて、会員などと連携・協力して、PR・情報発信を展開していく。

[展開イメージ]

- ・北関東エリアの商業施設等でのイベント開催 等

- 成田空港をより積極的に利用してもらえるよう、成田空港の豊富なネットワークやターミナル、アクセス利便性のPR・情報発信キャンペーンを、県内・首都圏エリアを中心に継続的に展開していく。

[展開イメージ]

- ① 県内の人口が集中するエリアでのPR
- ② 県内金融機関などを活用したPR 等

イ ナリタファンの拡大に向けた取組

主に県内の小学生など若年層に成田空港をより身近な存在として認識してもらい、“ナリタファン”の拡大へつなげるため、空港見学ツアーなどを行う。

[展開イメージ]

- ① 親子を対象とした成田空港見学バスツアーの実施
- ② 会員向け成田空港見学ツアー 等

(3) ビジネス支援事業

ア 会員の新たな事業・ビジネス展開に向けた協働の場づくり

成田空港や圏央道等を活用したビジネスの創出に向け、会員主導による交流・協働の場づくりを行う。

[展開イメージ]

- ① 成田空港からの二次交通の確保に向けた検討
- ② 成田空港や圏央道等を活用した産業振興に向けた検討 等

イ 経済活性化セミナー

成田空港や千葉県を取り巻く現状や 県内経済の最新動向及び今後の見通しなどを会員間で共有するとともに、会員の事業展開に資するセミナー等を開催する。

[展開イメージ]

- ① 圏央道開通の意義・効果と実走体感するセミナーの開催
- ② マーケットリサーチ結果のフィードバック
- ③ 旅行者を対象にした危機管理対応（会員調査を含む）
- ④ 会員のニーズや時流等を踏まえたセミナーの開催 等

ウ マーケットリサーチ

圏央道の開通などで、より一層高まる成田空港や千葉県のポテンシャルを最大限に活かした産業振興や地域活性化などに向け、会員の事業やビジネスの新たな展開に資する各種調査や情報収集を実施する。

[展開イメージ]

- ① 国内線利用動向調査
- ② 成田空港と圏央道を活かした地方創生・経済活性化
- ③ 会員のニーズや時流等を踏まえた調査 等

(4) 要望活動

成田空港の利便性向上のため、関連する団体と連携しながら、国等関係機関に対する要望を実施する。

(5) 会員提案の検討・実施

- 会員からの提案（意見・アイデア等）を協議会事業に反映させるため、情報・ノウハウを有する会員と積極的にコミュニケーションを図り、会員と連携しながら事業を展開する。
- 事業計画の方向に沿った事業提案や幅広い意見・アイデア等について、引き続き募集し、事業化に向けて取り組んで行く。

(6) これまでの活動の総括と今後の展開の検討

- 5年間の活動の内容、成果等を取りまとめ、総括するとともに、会員等に引き継ぎ、継続可能な事業については、当該会員と協議・連携のうえ、円滑な引き継ぎを行う。

(7) その他

- 協議会の活動を広報するため、各種媒体の積極的な利用やプレスリリースを展開するとともに、会員向けにメールニュース等による情報発信を行い、会員間において活動状況や成果の共有を図る。
- 会員企業・団体の広報媒体の活用や、会員が主催するイベントへの協賛・後援等、会員による広報・プロモーションと連携・連動した取組について、会員のニーズをふまえ検討・実施していく。

平成29年度 収支予算 (案)

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

【収入の部】

(単位：千円)

科目	本年度 予算額	前年度 予算額	増減額	摘要
1. 負担金	46,700	46,700	0	
2. 会費	7,750	7,800	△50	1口50千円
3. 繰越金	9,157	11,383	△2,226	
合計	63,607	65,883	△2,276	

【支出の部】

(単位：千円)

科目	本年度 予算額	前年度 予算額	増減額	摘要
1. 活動費	44,500	42,300	2,200	
(1) 誘客促進費	19,000	17,000	2,000	・国内線就航先との交流促進 15,000(⊗13,000) ・海外向け誘客促進 4,000(⊗4,000)
(2) 空港利用促進費	7,000	12,800	△5,800	・北関東エリアにおけるプロモーション 1,000(⊗2,500) ・県内・首都圏における利用促進キャンペーン 2,000(⊗8,500) ・リタファン拡大(親子バスツアー・会員向けバスツアー) 4,000(⊗1,800)
(3) ビジネス支援費	14,500	9,500	5,000	・会員間の協働の場づくり 2,000(⊗3,000) ・経済活性化セミナー 3,000(⊗2,500) ・マーケットリサーチ 9,500(⊗4,000)
(4) 活動共通費	4,000	3,000	1,000	旅費、会議費、広報宣伝費(パンフレット・ポスター作成費・その他広告費)等
2. 運営費	17,800	17,800	0	
(1) 人件費	13,500	13,500	0	事務局職員給与、諸手当等
(2) 管理費	3,300	3,300	0	事務所賃料、事務機器リース料等
(3) 事務費	1,000	1,000	0	消耗品費、印刷製本費、手数料等
3. 予備費	1,307	5,783	△4,476	
(1) 予備費	1,307	5,783	△4,476	会員提案や活動費等に充当
合計	63,607	65,883	△2,276	

[負担金企業・団体会員 14]

(単位：千円)

千葉県	25,000
成田国際空港株式会社	20,000
成田市	600
一般社団法人千葉県商工会議所連合会	100
千葉県経済同友会	100
一般社団法人千葉県経済協議会	100
一般社団法人千葉県経営者協会	100
千葉県商工会連合会	100
千葉県中小企業団体中央会	100
東日本旅客鉄道株式会社千葉支社	100
京成電鉄株式会社	100
一般社団法人千葉県バス協会	100
一般社団法人千葉県タクシー協会	100
公益社団法人千葉県観光物産協会	100

[市町村会員 45]

■ 3口 (15万円)

富里市	栄町	芝山町
香取市	神崎町	横芝光町
山武市	多古町	

■ 1口 (5万円)

千葉市	鴨川市	酒々井町
銚子市	鎌ヶ谷市	東庄町
館山市	君津市	九十九里町
木更津市	四街道市	一宮町
松戸市	袖ヶ浦市	睦沢町
茂原市	八街市	長生村
佐倉市	印西市	白子町
東金市	白井市	長柄町
旭市	南房総市	長南町
柏市	匝瑳市	大多喜町
勝浦市	いすみ市	御宿町
市原市	大網白里市	鋸南町
我孫子市		

[企業・団体会員 87]

■ 2口 (10万円)

(株) 京 葉 銀 行

千 葉 テ レ ビ 放 送 (株)

(株) 千 葉 銀 行

(株) 千 葉 日 報 社

(株) ちばぎん総合研究所

(株) ベ イ エ フ エ ム

(株) 千 葉 興 業 銀 行

■ 1口 (5万円)

アイベックスエアラインズ(株)

(株) グランビスタ ホテル&リゾート
鴨 川 シ ー ワ ー ル ド

(株) 秋 葉 牧 場

(株) グリーンポート・エージェンシー

阿 部 建 設 (株)

京 成 ト ラ ベ ル サ ー ビ ス (株)

(株) 飯 沼 本 家

京 成 バ ス (株)

イ オ ン (株)

(公財) 航空科学博物館

泉観光バス(株)千葉営業所

国 際 空 港 上 屋 (株)

(株) N A A リ テ イ リ ン グ

小 湊 鉄 道 (株)

(株) エム・アイ・エス・インターナショナル

(株) 坂 戸 工 作 所

(株) オリエントラルランド

参 光 タ ク シ ー (株)

(株) かずさアカデミアパーク

(株) J T B コ ー ポ レ ー ト セ ー ル ス

(株) 鐘 木 商 会

ジ ェ ッ ト ス タ ー ・ ジ ャ パ ン (株)

(株) 北 四 国 産 業

芝 山 鉄 道 (株)

近畿日本ツーリスト(株)
首都圏千葉団体旅行支店

春 秋 航 空 日 本 (株)

全国農業協同組合連合会
千葉県本部

千葉トヨペット(株)

全日本空輸(株)成田空港支店

塚本総業(株)

(株)相互

(株)ティエフケー

ダイユウホーム(株)

東京ガス(株)佐倉支社

千葉インバウンド促進協議会

東京空港交通(株)

(一財)千葉県勝浦海中公園センター

(株)トヨタレンタリース新千葉

千葉県ゴルフ協会

(株)トヨタレンタリース千葉

千葉県市町村職員共済組合
オークラ千葉ホテル

成田空港交通(株)

千葉県酒造組合

成田空港レンタカー協議会

千葉県酒類販売(株)

大本山成田山新勝寺

千葉県貿易協同組合

(一社)成田市観光協会

千葉県旅館ホテル
生活衛生同業組合

成田商工会議所

千葉県レクリエーション都市開発(株)

成田タクシー(株)

(一社)千葉県レンタカー協会

成田地区ホテル業協会

(株)千葉交タクシー

日東交通(株)

千葉交通(株)

日本航空(株)

千葉構内タクシー(株)

(株)日本旅行千葉支店

(公財)ちば国際コンベンションビューロー

バニラ・エア(株)

千葉商工会議所

ビー・トランセホールディングス(株)

千葉中央バス(株)

東日本高速道路(株)
関東支社千葉管理事務所

東日本電信電話(株)
千葉事業部

(株) マザー牧場

平山建設(株)

松崎交通(株)

福井電機(株)

三田下総交通(株)

船橋交通(株)

三井不動産(株)

県立房総のむら

三菱地所・サイモン(株)
酒々井プレミアム・アウトレット

北総鉄道(株)

ユアサ・フナシヨク(株)

(株) 幕張メッセ

米屋(株)

■ **会員数合計 146**
(平成29年5月26日現在)

役員の選任について

成田空港活用協議会役員（案）

（任期：平成29年7月31日～平成30年3月31日）

会 長

石井 俊昭（（一社）千葉県商工会議所連合会会長）

副会長

佐久間英利（千葉県経済同友会代表幹事）

木本憲太郎（（一社）千葉県経済協議会会長）

花田 力（（一社）千葉県経営者協会会長）

小泉 一成（成田市市長）

夏目 誠（成田国際空港株代表取締役社長）

監 事

和泉 善久（千葉県商工会連合会会長）

平 栄三（千葉県中小企業団体中央会会長）

※留任

参与の指名について

○参与（任期：平成29年5月12日～平成30年3月31日）

団体名	職名	氏名
（株）ちばぎん総合研究所	取締役社長	水野 創
（公社）千葉県観光物産協会	会 長	飯沼喜市郎
（公財）ちば国際コンベンションビューロー	代表理事	赤塚 稔

幹事の指名について

○幹事（任期：平成29年7月31日～平成30年3月31日）

団体名	職名	氏名
（一社）千葉県商工会議所連合会	専務理事	木原 稔
千葉県経済同友会	事務局長	黒岩 正典
（一社）千葉県経済協議会	専務理事	中村 公一
（一社）千葉県経営者協会	専務理事	花澤 和一
千葉県商工会連合会	専務理事	齋藤 博
千葉県中小企業団体中央会	専務理事	今関 光俊
成田国際空港(株)	上席執行役員	濱田 達也
千葉県	空港地域振興課長	山中 精一
成田市	観光プロモーション 課長	野村 吉男
（株）ちばぎん総合研究所	調査部部長	小松 孝之
（公社）千葉県観光物産協会	専務理事	飯田 重行
（公財）ちば国際コンベンションビューロー	事務局長	小磯 昭夫

